

JAPS ニュース 第 14 号

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 2-6-7 MARUZEN ビル 1F (有)東京カラー工芸社内
TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp http://www.japs.jp/

大震災後の活動に向けて

会 長 小川泰祐

2011 年 3 月 11 日に発生した未曾有「東北関東大震災」において被災された方々にはお見舞い申し上げますと共に、不幸にしてお亡くなりなれた方々には心よりお悔やみ申し上げます。

実感としては余り感じませんが、リーマンショックからある程度の時間を経て、景気も回復傾向との報道のさなかの大惨事となりました。写真界を取り巻く環境は益々厳しさを増す方向に動く事は避けられません。この様な厳しい時期に、隔年開催の富士フォトサロン写真展「光と空間・建築の美IX」、及び UIA 東京大会に併せて開催予定の「10 周年企画」写真展の開催も切迫してまいりました。双方とも準備作業を進めております。

また UIA 東京大会開催時にオープンする DAAS(建築空間アーカイブス)との協議も進み、日本建築写真家協会では会員の平成 22 年度分の写真提供料として 200 万円強(1カット¥3,500)の請求書を DAAS 経由で実際の運営母体である「一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構」に請求し年度末には入金予定です。これは JAPS

会員の請求事務の煩雑さを避けるため事務局が一括して行った作業分です。会員以外の写真家分は含まれておりません。会員個人々人への支払いについては別項で案として提示しております(下記)。

今後は建築出版界の「電子出版」にも注意を払わなくてはなりません。一般紙においては、雑誌協会と写真著作権協会との間で協定締結もなされています。建築雑誌ではその動きは多少遅くってはいますがこれも時間の問題のように思われます。

建築写真の分野でもデジタル化の進行に伴い、今年の総会(6月10日)には、富士フイルム、コダックに加え、ニコン、キヤノン両社のデジタル関連の技術者を招き質疑応答の場を設けます。会員諸氏におきましては多くの要望、質問などを用意し、ぜひご出席ください。その他会員の情報、ご意見など世話人会にお寄せください。この厳しい時代の日本建築写真家協会の活動の糧にしたいと思えます。宜しくお願い致します。

DAAS に提供した JAPS 会員の写真については 下記内容(案)で行いたく思います。ご検討下さい。

③3,500 円の内訳

・事務局への支払い	データ化手数料	@1,000 円
・	事務局経費	@1,000 円
・写真家への支払い	写真提供料	@1,500 円 (全て税込)

第8回 日本建築写真家協会 2011年 総会のお知らせ

2011年6月10日(金) 17:30～20:30

本年度の日本建築写真家協会総会を下記の通り開催致します。今年の総会には、富士フイルム・加賀ハイテック・キャノン・ニコンのメーカーの方々にご出席いただき、研究会の時間を設ける予定です。メーカーサイドに直接話しを聞けるいい機会ですので、是非皆様ご出席いただきます様お願い申し上げます。

総会 17:30～18:00

研究会 18:00～19:00

懇親会 19:00～20:30 の予定です。

場所：中国料理 桃杏楼(とうあんろう)

千代田区有楽町2-2-3 ニュートキョー本店ビル7F

TEL 03-3572-0007

建築空間アーカイブス 打合せ(JAPS・DAAS)メモ

記：事務局

日時 2011年3月11日 16:00～17:30 JAPS 事務局

出席者 JAPS 水谷一郎(事務局)
(震災のため小川欠席)

DAAS 武藤奈津子(専任事務局員)

議題・今年度分写真提供カットの整理

・請求金額の確認

・JAPS への支払いのための調整

・前年度分写真提供カットの支払い方法の検討

JAPS 10周年企画 UIA打合せ記録

日時 2010年10月21日 9:30～10:30

明治安田生命 3階会議室

出席者 明治安田生命保険相互会社

不動産部 秋元 俊一 氏

UIA 2011 東京大会組織委員会

学術部会 鯨坂 徹 氏

同上 運営部会長 佐野 吉彦 氏

日本建築写真家協会 代表 高井 潔

同上 会長 小川 泰祐

同上 事務局 水谷 一郎

財) ラウンジで開催する。

・明治安田生命社内のコンセンサスを経て、ギャラリー関係者に引き継ぐ。

・一般の人が自由に出入りできる広いラウンジの開館時間は10時～24時。

・開館中は使用者の責任において警備を行う。

・ラウンジの導線、警備等の関係でこの場での開催は不適。

・エントランス横のギャラリーでの開催とする。

・ギャラリーは狭いので展示方法に工夫が必要。

・展示方法その他はギャラリー担当者と綿密な打合せが必要。

●「丸の内」の土地柄、三菱グループのバックアップで開催する。但し金銭的なフォローは期待出来ない。

●展示会場に付いて

・JAPS10周年企画写真展を明治生命館(旧館/重要文化

●秋元氏は見本プリントを見て賛同の意思表示があった。

●5周年企画の「銀座ジャック」のプリントにも興味を持った。

●次回打合せ日未定

以上

日本建築写真家協会展

「光と空間」 — 建築の美 — Part IX

富士フイルムフォトサロン

東京展 2011年 6月10日(金) ～ 6月16日(木)

大阪展 2011年 7月8日(金) ～ 7月14日(木)

福岡展 2011年 7月29日(金) ～ 8月4日(木)

会員だより (90~98)

～ 会員の皆さんからの近況報告 ～

相原 功（東京都町田市）アナログか、デジタルか。-----90

今まで約 50 年間、何の疑問も無く銀塩を使い続けてきた。デジタル化は非常な勢いで進んでいて、遅れてはとデジタル撮影を始め、銀塩で撮った写真にいかにも近づけるかそんなことを考えながら 5 年がたった。

デジタル撮影は、現場での細かな苦労は少ない。そのせいか後の処理が大変なことを考えないままに撮影カットが多くなってしまった。後でなんとかしようという気の弛みか。

アナログ撮影の時のような気持ちで被写体に対して緊張感を持って、向かって行くことしかない。撮影がど

んな方法であろうと写真は写真である。

銀塩の写真に対するノスタルジーかもしれないが、あの豊かな諧調をデジタルで追求するのもいいかもしれない。現像場は少なくなったし、フィルムも種類が少なくなったが、銀塩の魅力は捨てがたい。当分は両刀使いで行くしかない。出版業界からの依頼は、ほとんどがデジタル撮影で、アナログ撮影の依頼はないに等しい。アナログの素晴らしさをもう一度見直す時が来るだろうか。

玉森 潤一（大阪府大阪市）-----91

東日本大震災により、被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。この原稿が掲載されている時には、復興への明るい一歩が踏み出されていることを、ただただ、お祈りするばかりです。

さて私の近況ですが、デジタル化して 3 年。最初の頃は、機材や撮影方法、PCでのRAW現像、画像処理など慣れるまで時間がかかり、あまり満足のいく画像が作れずイライラ。また銀塩と比較ばかりしていました。「やっぱりフィルムはええな」といった風に。しかし最近では、比較しても仕方がないので、デジタルの良さを 100%

活かし撮影。画像処理も随分慣れ満足のいくプリントも作れるようになった。とにかく機材セッティングから撮影までが速く（10 数秒程度）、チャンスを逃しにくい。とにかく数を撮って持ち帰ったデータ（ネタ）を、PC画面上で作り上げていく（調理）。ただココに莫大な時間を費やすことにイライラ。いずれにしても撮影アングルを決めるのはデジタルでも銀塩でも同じなので、ビューカメラ時のシャッターを切る時の感覚だけは、脳の片隅に置いて、マウスをクリックする今日この頃です。

香川 康之（東京都品川区）「デジタル雑感」-----92

フィルム撮影からデジタル撮影にシフトし始めて早いもので約 8 年が経ちました。今では仕事のほぼ 100% がデジタル撮影。最初はそれなりに先端を走っているように錯覚したりもしていましたが、年月が過ぎて、ふと気付いてみればこの大きな流れの中で、今は足踏みの状態が現状です。

デジタル化の恩恵も弊害も様々に味わってきましたが、この大きな流れはこれからもまだ、私たちを翻弄さ

せ続ける事でしょう。

ハードもソフトもバージョンアップとハイスペックを繰り返して行くけれど、肝心の自分のバージョンアップは、なかなか追い付かず悪戦苦闘の日々ですが、自分の立ち位置を見失わないよう。

カメラマンとして仕事の本質は変わらないことを信じて、これからも感動出来る被写体との出会いを信じて、もう少し頑張らねばと思う今日この頃です。

鴻上 和雄（広島県尾道市）-----93

今、私が暮らしている尾道は、NHK の朝のドラマ「てっぱん」の舞台になったこともあり、観光客が例年よりも多く、特に熟年夫婦や団体が目につきます。

尾道は私もその魅力にひかれて大阪から移り住んでいるのですが、海と山に挟まれた狭い地域にレトロな家屋洋館や神社仏閣が多く、歩いていて飽きることがありません。当地出身の大林監督が、ここを舞台に何本もの映画を撮ったのもうなずけます。坂の多いどこか懐かしさを感じさせる町並みは、絵になるスポットがたくさんあります。絵を描く人、写真を撮る人があちこちに多くみられるのも当然かもしれません。

私、こんな尾道で写真事務所と「そば鴻」という手打ち蕎麦の店の二足のわらじをはいて日々を過ごしてお

ります。機会がありますれば、皆様गत、ぜひ尾道にお越しくださいませ。お待ちしております。



川上 明（東京都大田区）好きなそばが、食べられなくなった。 —————94

世田谷方面へ行くときは、あの店のそばを食べようと、目黒方面へ行ったときは、この中華ランチを食べようと、前日より組み立て、少し前までは予定どおり食していた。銀座にある中華料理店は、どれを注文しても安くてうまい。上馬にあるそば屋は、井ものを食しても私の口には合う。

弁当系だったら、この肉屋の、魚屋の、と、おにぎりはこのスーパーの、という具合に自分なりのグルメスポットを一応持っている。立ち食いそば屋でもまた然りだ。先日、ひいきの店で昼食を終え車に戻ったら、フロントガラスに張り紙があった。高い昼食代になってしまった。

荒牧 万佐行（東京都杉並区）渡辺義雄先生の一枚の写真 —————95

正月休みに写真を整理していて一枚の写真を発見した！何と45年前に写した渡辺先生の写真だ。助手として四谷本塩町の渡辺義雄写真研究所で働いていた時のものだ。厳しい顔で写真を選んでいる姿を一枚写させてもらった仕事上のスナップである。

毎朝の掃除では、灰皿をはじめ机の上の整理、機材の置かれた部屋の清掃など、たびたび厳しく指摘された。来客に出すお茶にも厳しかった。「君は玉露の温度も知らんのか」と来客の前で注意を受けた。電話の対応では、相手に先生と言うと「渡辺というもんだ」と注意された。撮影に出掛ける途中、水道の水がぼたぼた落ちていると、「国の損失だよ、すぐ止めなさい」と一言。

撮影現場で昼食が取れない時などは、近くの売店でビ

ールを購入。カロリーがあるから一食ぐらいこれで充分と二人でグイーッ。

一枚の写真から懐かしいさまざまな状況が思い出された。

**富江 公夫（滋賀県草津市）デジタルカメラの恐怖体験 —————96**

田舎では生活のため建築写真のみならず広告写真全般で仕事をしているわけですが、最近はご多分にもれず仕事量の激減と撮影予算の減少、納期の時間短縮などで、ほぼ100%デジタルカメラで撮影しています。そのデジタルの怖さを体験しましたので、この機会に書こうと思います。

昨年秋に、あるイベントを朝から夕方にかけて約500カット撮影し、帰宅後、いつものようにパソコンにデータの取り込みをしたところ80カットほどで止まり「あれ？」と思った瞬間に画面からCFカードのアイコンが消えてしまいました。仕方がないので、カードリーダーからのUSBコードを一度抜き、もう一度差し込んで、

反応なし。別のノートパソコンでもまったく無反応。

カードの製造会社へ聞いたところ、「撮影データについては保証の範囲外」と言うこと。いよいよ、困ってデータ復旧業者にカードを送って調べてもらったが、復旧の保証は出来ないとのこと。仕方なくそのまま返送してもらい、もう一度カードの製造会社へ連絡して現物を送ったところ、同製品の新品が送られてきただけでその後、調査結果の連絡もありません。

そのイベントについては、サブカメラのデータと友人に頼んでおいたスナップのデータとで何とか形になり大事に至らなかったのですが・・・。

田川 満男（東京都杉並区）ストレスフリー —————97

僕はストレスフリー エッ何がって！それは、写真のすべてがデジタル化されたから。な～んだ。デジタルの話はもうウンザリだね。ですよね！ でも僕はスゴ～ク楽しいのです。

以前の僕と来たら、オッこのフィルムは好きだ！このエマルジョン、ストックして下さい。やったぜ、ニヤニヤしながら大量に冷蔵庫へ。しか～し。アライヤダ！ 現像のたびによく転ぶこと。（ラボの皆さんゴメンなさい。）プリントもここは、こんな感じでお願いします。ところが何時しか暗室マンの好みの方向へ。（一生懸命良くしてくださったのにゴメンなさい）そのたびに、帰りの車の中で僕はおそらく半ベソをかいていたはずです。

しかし、今では撮ったイメージをフィニッシュまで人の手に触れることなく、自分一人で出来るのですから気分はルンルンです。これは単に技術的なことではなく実に楽し

いのです。

画家がイメージ通りに絵筆を使うように夢中でマウスをカチカチとやったりします。でも、その様な物に限って結果は良くありません。どうやら、もう一人の冷めた自分が必要なようです。ここが銀塩にはなかった、勘どころの様です。

このストレスフリーと引き換えに失った物もあります。それは、ピントグラスでの楽しい絵づくりやシャッターを切るまでの一連の所作、最後にキレイに写りますようにと念をこめながらシャッターを切る気持ちよさ。でも、贅沢は言えません。一つを失っても一つ以上のものを手に入れたのですから。もう以前には戻れないのだから。

んっ！ おっといけねえ！ もう前のようにバンバンと撮影が入る訳がないんだっけ！！

でもねっ、以前にもまして楽しく仕事をしていますよ。

飯野 勇一（神奈川県横須賀市）

98

協会の皆様お世話になっております。入会させて頂いてから、今年で早くも3年目になりました。この間にも富士フォト写真展、先輩方の精力的な個展開催や出版などたくさんの刺激を頂き協会員として迎えて頂いた事をとても嬉しく感じています。

さて今回、改めて自己紹介させていただきます。私は普段は建物を中心に商品やフードなどのブツ撮りを主に行っております。建物を好きになったきっかけは、貧乏長屋住まいだった子供の頃、近所に立ち並ぶ新築の戸建てに強く憧れたことがきっかけでした。「いつか大人になったら自分でも綺麗な家に住みたい。そこで家族と暮らしたい」そんな思いで成長しましたので(モダンで芸術的な建築も好きですが)、戸建住宅に対しては今でも特別な思いを持って撮影しています。他にはプライベートで安曇野の原

風景として道祖神や祠など撮り貯めています。

趣味は昔から主に音楽ですね。楽曲の鑑賞はもちろん、JAZZバー等でドラムやピアノの演奏楽しんだり、自宅で作曲をしたりCD制作をして楽しんでいます。ジャンルはJAZZでもロックでもクラシックでもテクノでも、なんでも好きですが70年代のソウル・ミュージックが一番の好みです。ここ最近は演奏風景や自作曲は動画サイトに投稿したりもして国内外の人達とも音楽を通じて交流しています。協会の方で同じ趣味の方いらっしゃいましたら是非語り合いましょう。因みに仕事関連資格としてはデジカメ検定、色彩検定共に一級を持っています。

こんな自分ですが、協会員として恥じないよう、これからも鋭意努力を続けて行く所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



●日本建築写真家協会 世話人会報告 (50~54) ●

代 表：高井 潔
会 長：小川泰祐
副会長：堀内広治
総 務：木寺安彦・山下圭一
会 計：田中 豊・三輪晃士・(篠澤 裕)

広 報：小野吉彦・津布久智・渡辺重任
事 業：内木政治・篠澤 裕・西出貴文・
平井広行・山崎望輝・山田新治郎
大 阪：名執一雄 名古屋：車田 保
福 岡：山本伸生 仙 台：横山博志

●第50回 2010/11/19 カルフル貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 大竹静市郎、小川泰祐、小野吉彦、金崎たどし、木寺安彦、高井 潔、平井広行、堀内広治、丸山 泰、三輪晃士、山崎望輝、山田新治郎、渡辺重任
- 設立 10 周年写真展について、出展調整作業。展示場に監視役が必要。
 - 富士フォト写真展、現時点出展者 24 名。
 - 2011 年総会、ニコン、キヤノンへの質問を事前に決める。
 - 世話人に若い人を入れる。

●第51回 2010/12/10 カルフル貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 大竹静市郎、大橋富夫、小川泰祐、小野吉彦、木寺安彦、工藤政志、篠澤 裕、津布久智、中塚雅晴、平井広行、西出貴文、山崎望輝、
- 設立 10 周年写真展について、出展調整作業。会場下見は未完了。正式名称「日本・風土と建築」日本建築写真家協会 創立 10 周年展。出展は選考か、全員か→再提出を依頼する人もある。
 - 富士フォト写真展、参加が少ないので再度ファックスする。

●第52回 2011/01/21 カルフル貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 大橋富夫、小川泰祐、小野吉彦、木寺安彦、工藤政志、篠澤 裕、高井 潔、中塚雅晴、西出貴文、堀内広治、丸山 泰、宮本和義、三輪晃士、山下圭一
- 総会、ニコン、キヤノンの技術者を呼ぶ事について。
 - 10 周年展、出展調整作業。明治生命館・三菱地所設計各担当

に連絡済み。展示枚数の検討。タイトル提出(英語併記のため早めに進める)

- 2011 年「光と空間」富士フォト・東京、大阪に会場変更。富士フィルムからの補助が打切られ、パネルサイズ変更等経費節減要検討。現在 45 名出展予定。
- DAAS について、200 万(税抜き)の請求書を DAAS に送付済。著作権保護のため、契約文書を協議中。
- 世話人の出欠連絡を徹底する。

●第53回 2011/03/24 カルフル貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 大橋富夫、小川泰祐、小野吉彦、高井 潔、西出貴文、平井広行、堀内広治、山崎望輝
- 富士フォト出展作品調整。今回 DM の色あざき色。
 - JAPS ニュース編集進める。
 - DAAS の写真料金の内訳は、個人支払・事務局経費・データ化料金とし、Web のみでの閲覧までとする。
 - 総会、メーカー質問担当はニコン三輪、キヤノン堀内。

●第54回 2011/04/08 カルフル貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 大橋富夫、小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、高井 潔、平井広行、堀内広治、丸山 泰、山崎望輝、山下圭一
- 総会について、総会 17:30~18:00、研究会 18:00~19:00、懇親会 19:00~20:30 とする。新入会員は出席の事。進行・三輪、会員からの質問・堀内。
 - 富士フォトサロン東京の開館時間は 10:00~18:00 となる。

掲 示 板

最新情報はホームページをご覧ください。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



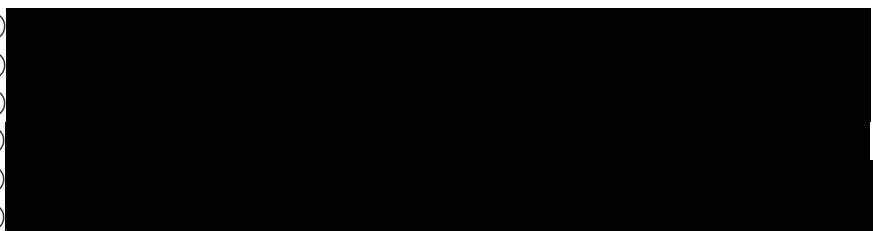
⑪



- 山本シンセイ 写真展①「- マイナス550レベル -」 2011年5月17日～22日
 ギャラリー 風 (福岡県福岡市)
- 鈴木 喜一 写真展②「異国の瞳」 2011年2月3日～9日 オリンパスギャラリー東京
 (東京都千代田区) (終了)
- 宮本 和義 写真展③「- 風の貌 2 - 不思議な狛犬たち」 2011年1月7日～10日
 アユミギャラリー (東京都新宿区) (終了)
- 野口 毅 写真展④「lighthouse III」 2010年11月16日～21日 京都 同時代ギャラリー
 (京都府京都市) (終了)
- 高井 潔 テレビ⑤ キヤノン プレミアム アーカイブス「写真家たちの日本紀行 未来に残したい情景」
 BS ジャパン 2011年3月19日、3月26日 19:30～20:00 (終了)

新入会員

- 海老原一己 ⑥
 藤井 浩司 ⑦
 金子美由紀 ⑧
 八幡 輝幸 ⑨
 米田 正彦 ⑩
 山崎 浩治 ⑪



連絡先等変更 住所・連絡先等変更がありましたら、必ず事務局にご連絡ください。

- 田岡 信禧 住所のみ変更
 芥子 富吉 FAXのみ変更



事務局 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp